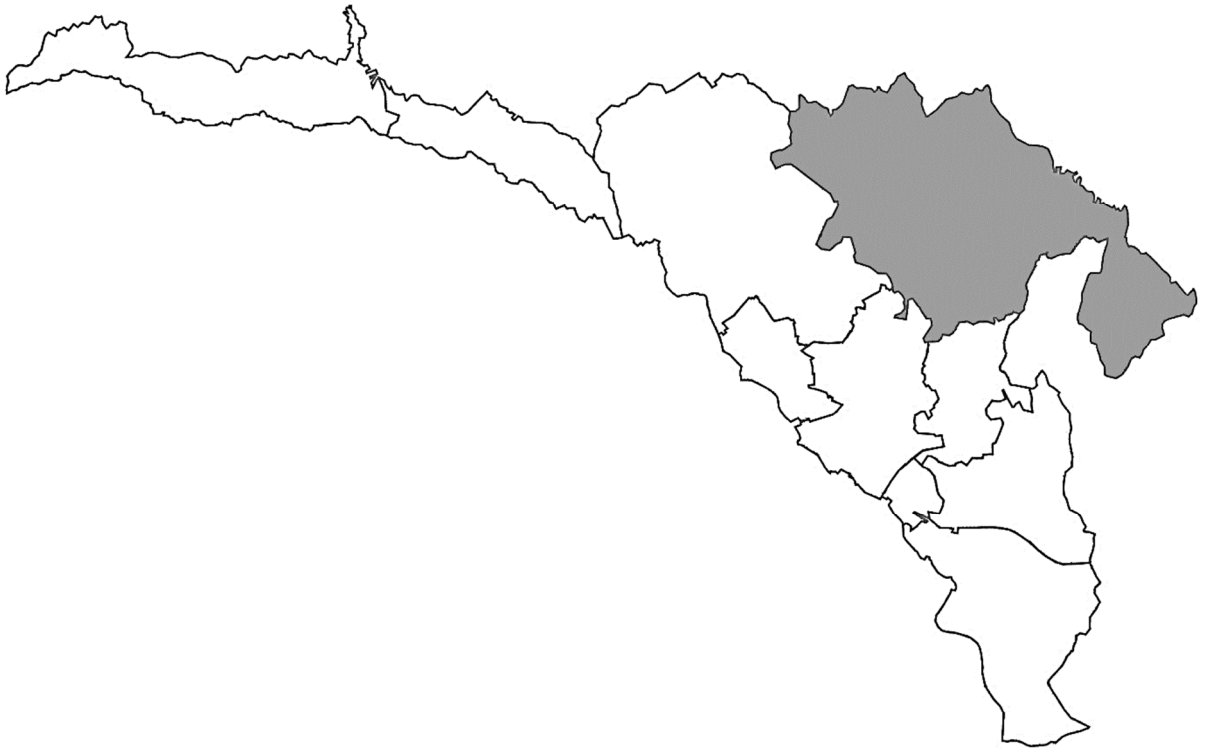


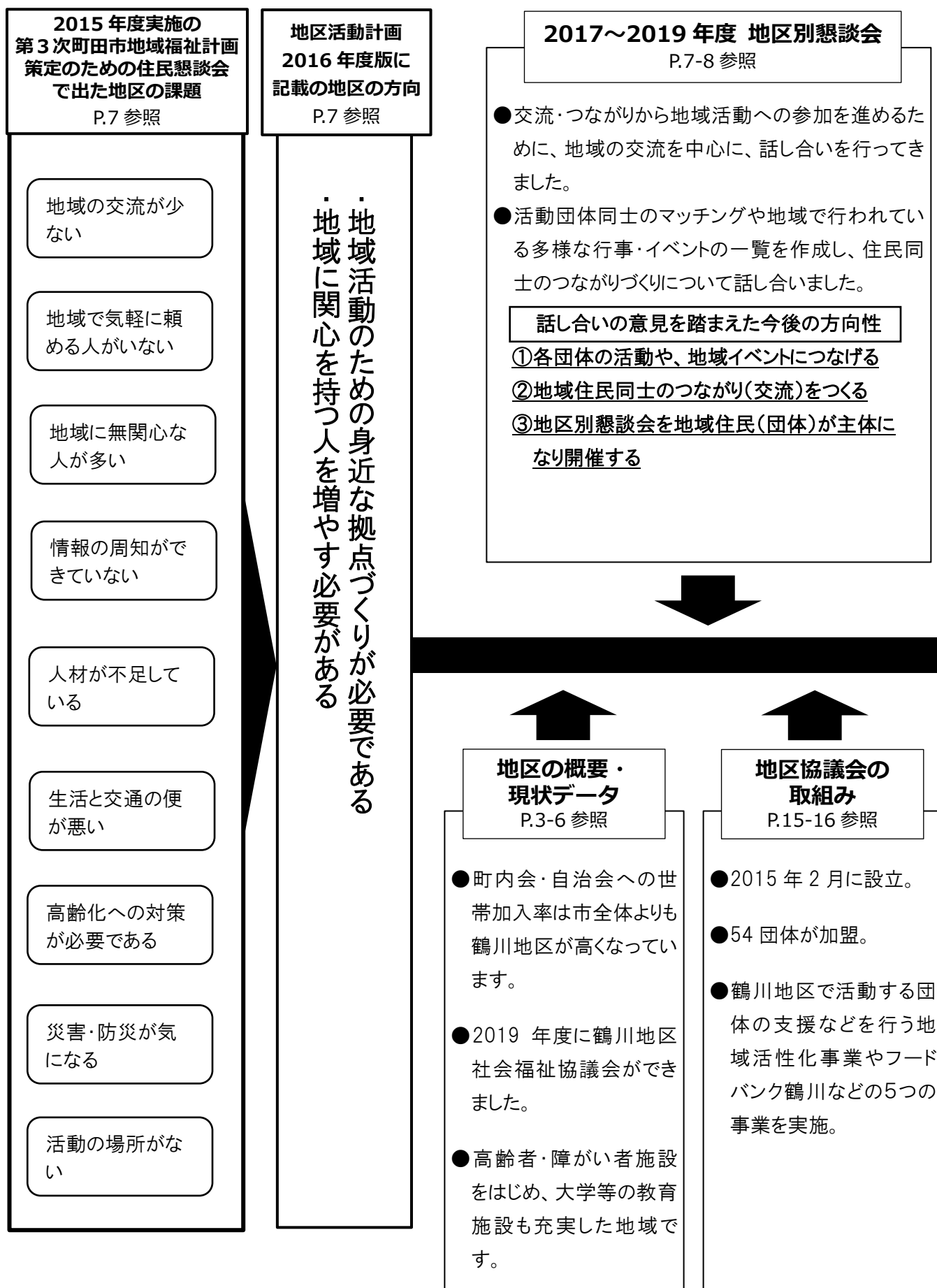
鶴川地区 基 礎 資 料



2022 年度 町田市地区別懇談会

基礎資料につきましては、開催日当日に使用する資料ではありません。
ご参加いただく皆様に事前にお目通しいただけるよう、地区の概況を
まとめた資料となっております。

1. 過去5年間の取組み等を踏まえた地区のまとめ



・地域活動のための身近な拠点づくりが必要である
 ・地域に関心を持つ人を増やす必要がある

地域の交流が少ない

地域で気軽に頼める人がいない

地域に無関心な人が多い

情報の周知ができていない

人材が不足している

生活と交通の便が悪い

高齢化への対策が必要である

災害・防災が気になる

活動の場所がない

**2020 年度
地区別アンケート**
P.9-13 参照

**コロナ禍における地域活動の
状況について**

- コロナ禍でも多くの団体が、様々な工夫をして活動を続けており、SNS やオンライン等が活用されています。

**アンケート結果を踏まえた
今後の方向性**

- 鶴川地区協議会と鶴川地区社協が連携し、研修や地区別懇談会を開催し地域住民同士のつながりをつくる

**5年間を通して
生まれた取組み**
P.14 参照

- 地区協議会をはじめ、地域の活動団体と地区別懇談会の参加者がつながりました。

**タウンミーティング
の結果** P.22 参照

**住みたい(なりたい)
まちの姿について**

- 「交流・つながり」、「子どもの遊び場」、「交通・インフラ」の意見があがっています。

**過去 5 年間の取組み等を踏まえ
見えてきたこと**

**①地域活動につながる住民同士の交流
の実施と情報発信の展開**

- ・地区別懇談会では、地域の交流を中心に話し合い、住民を活動団体や地域イベントにつなげる方向性が示されています。
- ・市民アンケートでは、近所づきあいや活動が盛んなことがうかがわれる一方で、地域に情報が届いていない可能性があります。
- ・また、タウンミーティングでも地域における交流・つながりの意見が出ています。

- 以上のことから、交流・つながりから地域活動への参加を促すために、地域への関心が低い住民も参加してもらえる交流の実施と地区内に広く情報が伝わるような情報発信を展開することが重要と考えられます。

**②地区協議会と地区社会福祉協議会の
連携による研修・地区別懇談会の実施**

- ・地区内には多様な地域資源があります。
 - ・2019 年度には、鶴川地区社会福祉協議会が立ち上がりました。
 - ・2020 年度の地区活動計画では、地区協議会と地区社会福祉協議会が連携し、研修や地区別懇談会を開催する方向性が示されています。
- 以上のことから、地域の多様な施設や関係機関とも連携しながら、実施に向け具体的な研修内容や話し合いのテーマについて検討をしていくことが考えられます。

市民アンケート調査
P.17-21 参照

- 近所つきあいの程度、住民同士の協力関係を必要だと思っている人、地域活動・ボランティア活動に参加している人の割合がいずれも高くなっており、住民同士のつながりや活動が盛んなことが伺えます。
また「隣近所などのおつきあい」、「町内会・自治会の活動」、「地域でのボランティア活動」の満足度は、全体と比較して高くなっていることから、近所つきあいや活動等への参加状況が関係しているのが分かります。
- 地域活動・ボランティア活動に参加していない人の参加しやすくなる条件、住民同士の協力関係をつくるために必要なことでは、「情報提供」の回答が全体より高くなっており、地区内で情報が行き届いていない可能性があります。

2. 地区の概要・現状データ

＜鶴川地区の該当町名＞

大蔵町、小野路町、金井 1～8 丁目、真光寺 1～3 丁目、真光寺町、鶴川 1～6 丁目、能ヶ谷 1～7 丁目、野津田町、広袴 1～4 丁目、広袴町、三輪町、三輪緑山 1～4 丁目、薬師台 1～3 丁目（旧金井町の一部を含む）、金井ヶ丘 1～5 丁目（旧金井町の一部、旧大蔵町の一部）、藤の台 3 丁目（旧金井町の一部）、玉川学園 4～6 丁目の一部（旧金井町の一部）、金井町

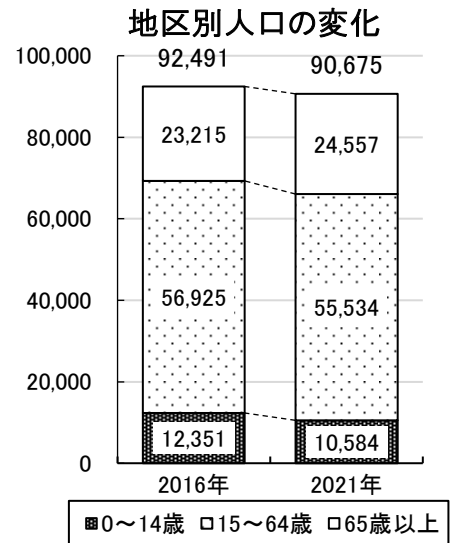
（１）５年間の地区の変化と市全体との比較

＜５年間の地区の変化＞

- 0～14歳人口の減少（P.4「人口」参照）
- 75歳以上人口（後期高齢者）の増加（P.4「人口」参照）
- 要介護認定者数の増加（P.4「要介護認定者数」参照）
- 障がい者数の増加（P.4「障がい者数」参照）

＜町田市全体との比較＞

- 市全体より要介護認定率が低い（P.4「要介護認定者数」参照）
- 町内会・自治会連合会加盟団体への世帯加入率は鶴川地区が高い（P.4「町内会・自治会」参照）



（２）鶴川地区の概要

＜人口＞（2021年10月1日現在）

- 90,675人
（14歳以下の割合：11.7%、65歳以上の割合：27.1%）

＜特徴＞

- 自然と調和した閑静な住宅地が広がっている。また、歴史・文化資源が多く残っており、文化の交流の核となっている。
- 2019年度に地区社会福祉協議会（地区社協）が設立されている。
- 高齢者・障がい者関係施設だけではなく、教育施設も充実しており、高校が3校、大学が3校、特別支援学校が2校ある。

＜主な資源＞

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ・ 駅：1 駅（鶴川駅） | ・ 高校・大学：高校3校、大学3校（短大含） |
| ・ 高齢者支援センター：2 か所 | ・ あんしん相談室：2 か所 |
| ・ 地域子育て相談センター：1 か所 | ・ 子どもクラブ：1 か所 |
| ・ 子どもセンター：1 か所 | ・ 障がい者支援センター：1 か所 |

(3) 鶴川地区の現状データ

		鶴川地区		町田市全体	
		2016年度	2021年度	2016年度	2021年度
人口	地区内総人口	92,491人	90,675人	428,203人	430,607人
	0～14歳	12,351人 (13.4%)	<u>10,584人</u> (11.7%)	55,977人 (13.1%)	51,516人 (12.0%)
	15～64歳	56,925人 (61.5%)	55,534人 (61.2%)	261,697人 (61.1%)	262,247人 (60.9%)
	65歳以上	23,215人 (25.1%)	24,557人 (27.1%)	110,528人 (25.8%)	116,844人 (27.1%)
	75歳以上（再掲）	10,934人 (11.8%)	<u>12,835人</u> (14.2%)	53,117人 (12.4%)	63,573人 (14.8%)
世帯	世帯数	40,062世帯	41,282世帯	192,005世帯	202,737世帯
	世帯あたり人口	2.31人	2.20人	2.23人	2.12人
要介護認定者数	要支援1	566人	896人	2,773人	4,170人
	要支援2	391人	476人	2,057人	2,500人
	要介護1	929人	1,045人	4,327人	5,435人
	要介護2	672人	615人	3,398人	3,411人
	要介護3	481人	495人	2,394人	2,734人
	要介護4	462人	554人	2,224人	2,841人
	要介護5	438人	406人	2,057人	2,131人
	合計	3,939人	<u>4,487人</u>	19,230人	23,222人
	参考:要介護認定率 ※1	17.0%	<u>18.3%</u>	17.4%	<u>19.9%</u>
認知症高齢者数 ※2		2,075人	1,369人 ※6	10,040人	7,286人 ※6
障がい者数 ※3	身体障がい	2,313人	2,292人	11,808人	11,544人
	知的障がい	589人	634人	3,117人	3,253人
	精神障がい	640人	900人	3,698人	5,378人
	合計	3,542人	<u>3,826人</u>	18,623人	20,175人
	人口に占める割合	3.8%	4.2%	4.3%	<u>4.7%</u>
自治会・町内会 ※4	団体数	37	36	226 (309)	220 (310)
	加入世帯数	21,059世帯	19,540世帯	89,566世帯 (103,595世帯)	83,872世帯 (98,255世帯)
	加入率	52.9%	<u>47.5%</u>	47.0% (54.3%)	<u>41.6%</u> (48.8%)
団地	参考：団地人口 ※5	10,247人	9,257人	36,225人	32,997人
	参考：団地世帯 ※5	5,645世帯	5,409世帯	20,525世帯	19,905世帯

○人口、世帯数：各年10月1日現在（住民基本台帳に基づく）（総人口には年齢不詳1人を含む。）

○要介護認定者数、認知症高齢者数：各年10月1日現在

○障がい者数：2016年は10月17日現在／2021年の身体・知的は10月1日現在、精神は2月7日現在（実績値）

○町内会・自治会：4月1日現在

◆備考◆

※1 要介護認定率は参考数値（要介護者数に64歳以下も含むため）

※2 要支援1～要介護5を持つ方のうち、日常生活自立度Ⅱ以上の方

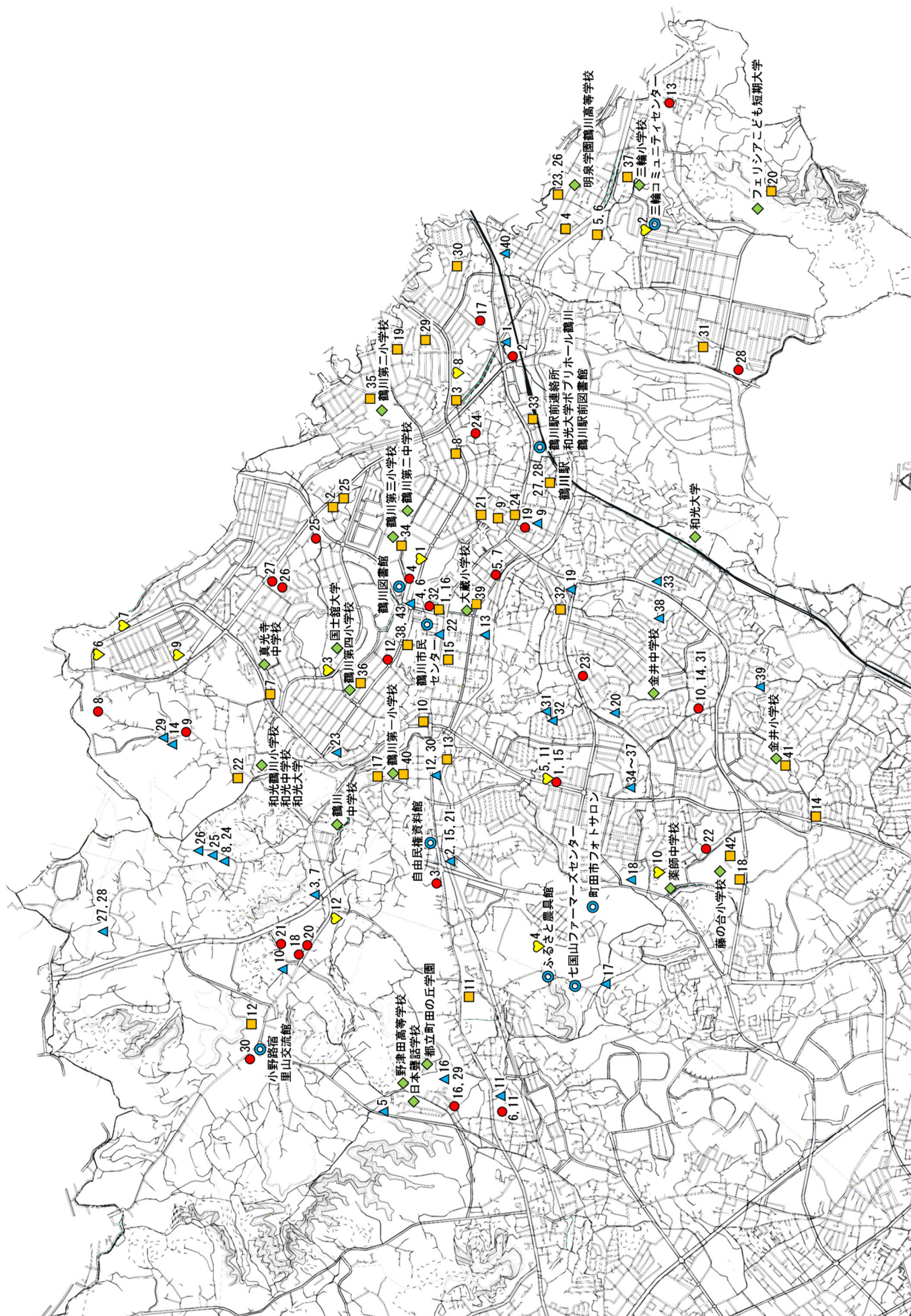
※3 障害者手帳の所持数

※4 町田市町内会・自治会連合会に加盟している団体数（ ）内は非連合を含めた値

※5 各年10月1日現在。鶴川地区の数値は、該当町名を含む団地人口・世帯の合計（真光寺住宅（真光寺3丁目）、鶴川団地（鶴川2・3・5・6丁目）、藤の台団地（本町田・金井町））。市全体は、東京都住宅供給公社と都市再生機構の団地人口・世帯の合計。

※6 2021年の認知症高齢者数は、新型コロナウイルス感染症の特例で、介護度をそのまま1年延長している方は主治医意見書が提出されていないことと、認定調査を実施していないため、前年よりも認定者数が少ない数値となっています。

3. 地区資源マップ



【地区資源リスト】

●子ども・子育て関係の施設(■)

<地域子育て相談センター>

- 1 鶴川地域子育て相談センター

<保育園>

- 2 東平しらゆり保育園
- 3 みどりの森保育園
- 4 三輪あいこ保育園
- 5 三輪保育園(本園)
- 6 三輪保育園(分園)
- 7 花の木保育園
- 8 ぎきょう保育園
- 9 つるかわ保育園
- 10 井の花保育園
- 11 おひさま共同保育園
- 12 小野路保育園(本園)
- 13 小野路保育園(分園)
- 14 ゆうき山保育園
- 15 ぼっほの森保育園
- 16 市立大蔵保育園

<幼稚園>

- 17 鶴川若竹幼稚園
- 18 藤の台幼稚園
- 19 鶴川平和台幼稚園
- 20 夢の森幼稚園
- 21 けいしょう幼稚園
- 22 和光鶴川幼稚園

<認定こども園>

- 23 フェリシア幼稚園フェリシアこども短期大学附属
- 24 認定こども園 鶴川シオン幼稚園
- 25 幼保連携型こども園東平ひまわりこども園

<小規模保育事業所>

- 26 鶴川フェリシア保育園
- 27 東平ひなぎく保育園
- 28 東平なでしこ保育園

<家庭的保育室(保育ママ)>

- 29 にじの丘家庭保育室
- 30 ゆりかご保育室
- 31 ほほえみ家庭保育室
- 32 ひだまり保育室

<認証保育所>

- 33 木下の保育園 鶴川

<学童保育クラブ>

- 34 鶴川学童保育クラブ
- 35 鶴川第二学童保育クラブ
- 36 鶴川第四学童保育クラブ
- 37 みわっこ学童保育クラブ
- 38 つるっこ学童保育クラブ
- 39 大蔵学童保育クラブ
- 40 野津田学童保育クラブ
- 41 金井学童保育クラブ
- 42 藤の台ポケット組学童保育クラブ

<子どもセンター・子どもクラブ>

- 43 子どもセンターつるっこ

●高齢者・介護保険関係の施設

(●)

<相談>

- 1 鶴川第1 高齢者支援センター
- 2 鶴川第2 高齢者支援センター

<あんしん相談室>

- 3 野津田あんしん相談室
- 4 鶴川あんしん相談室

<小規模多機能型居宅介護>

- 5 小規模多機能ホーム光の園おおくら

<看護小規模多機能型居宅介護>

- 6 花織まちだ

<認知症グループホーム>

- 7 高齢者グループホーム光の園おおくら
- 8 老人グループホーム陽だまりの家町田
- 9 高齢者グループホーム光の園町田
- 10 丘の家清風
- 11 花物語まちだナーシング

- 12 グループホーム花水木
- 13 ファーストリビング町田三輪

<特別養護老人ホーム>

- 14 清風園
- 15 第二清風園
- 16 福音の家
- 17 悠々園

<介護老人保健施設>

- 18 町田さくらんぼ

<有料老人ホーム(特定施設)>

- 19 はなことば町田鶴川
- 20 サンシティ町田
- 21 SOMP Oケア ラヴィーレ町田小野路
- 22 リアンレーヴ町田
- 23 ケアセンター金井
- 24 メディカルホームまどか鶴川
- 25 ボンセジュール町田鶴川
- 26 ベストライフ町田
- 27 ベストライフ町田Ⅱ
- 28 緑山グランドハイツ

<軽費老人ホーム>

- 29 町田愛信園

<訪問看護>

- 30 訪問看護リハビリステーションヨリドコ

<定期巡回・随時対応型訪問介護看護>

- 31 訪問巡回ステーション清風園

<高齢者福祉センター(ふれあい館)>

- 32 ふれあいいちよう館

●障がい者・福祉関係の施設(▲)

<障がい者支援センター>

- 1 鶴川地域障がい者支援センター

<計画・相談支援>

- 2 つるかわ学園相談支援センター
- 3 共働学舎相談室
- 4 グッドサポートふくいきん鶴川

<短期入所(ショートステイ)>

- 5 まちだ丘の上病院
- 6 地域生活支援センターかのん

<生活介護(通所)>

- 7 湯舟共働学舎
- 8 小野路共働学舎
- 9 赤い屋根
- 10 町田生活実習所
- 11 町田かたつむりの家
- 12 プリコラーシュのつたの空
- 13 花の郷

<短期入所・施設入所支援・生活介護(通所)>

- 14 つるかわ学園

<自立訓練>

- 15 支援センター ソラール

<就労移行・継続支援>

- 16 ひあたり野津田
- 17 ワークショップ七国山
- 18 町田リス園
- 19 ノーマライゼーション K
- 20 クラフト工房 La Mano
- 21 つるかわ学園職業準備支援センター
- 22 お〜くらいど

<共同生活援助(グループホーム)>

- 23 ゆうじんし、K
- 24 小野路生活寮
- 25 小野路第二生活寮
- 26 桜ヶ丘生活寮
- 27 黒川第一生活寮
- 28 黒川第二生活寮
- 29 ドリーム
- 30 のづた
- 31 あいわホーム町田大蔵
- 32 あいわホーム町田大蔵2
- 33 輪が家1、2、4
- 34 あいわホーム町田金井1、5
- 35 あいわホーム町田金井4
- 36 あいわホーム町田金井2
- 37 あいわホーム町田金井3
- 38 シンセイ金井

- 39 希望の樹イチョウ、みかん
- 40 Como eres 能ヶ谷

●ふれあいサロン・子育てサロン

(♥)

<ふれあいサロン>

- 1 ロビーカフェ「花組」
- 2 ふれあいサロン緑山
- 3 ふれあいサロン鶴川
- 4 ふれあいサロンべるべる会
- 5 サロン遊亀
- 6 ふれあいサロンつるかわ台
- 7 らふう
- 8 リラックスサロン natura〜ナチュラ
- 9 ふれあいサロン真光寺

<子育てサロン>

- 10 子育てサロンぽっぽくらぶ
- 11 子育てサロンポップコーン
- 12 こぎつねはらっぱ

【資源マップ上記載の凡例】

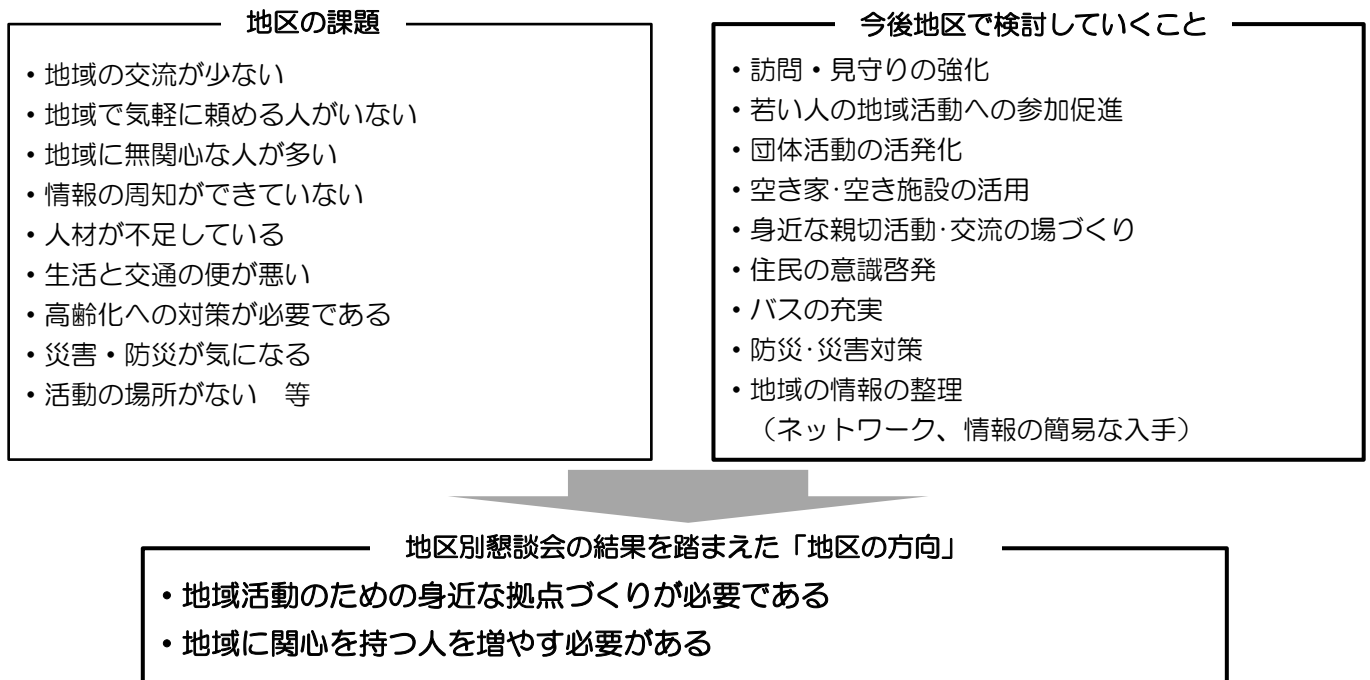
●教育施設(◆)

●その他の公共施設(○)

4. 地区別懇談会の経過

(1) 鶴川地区 地区別懇談会※

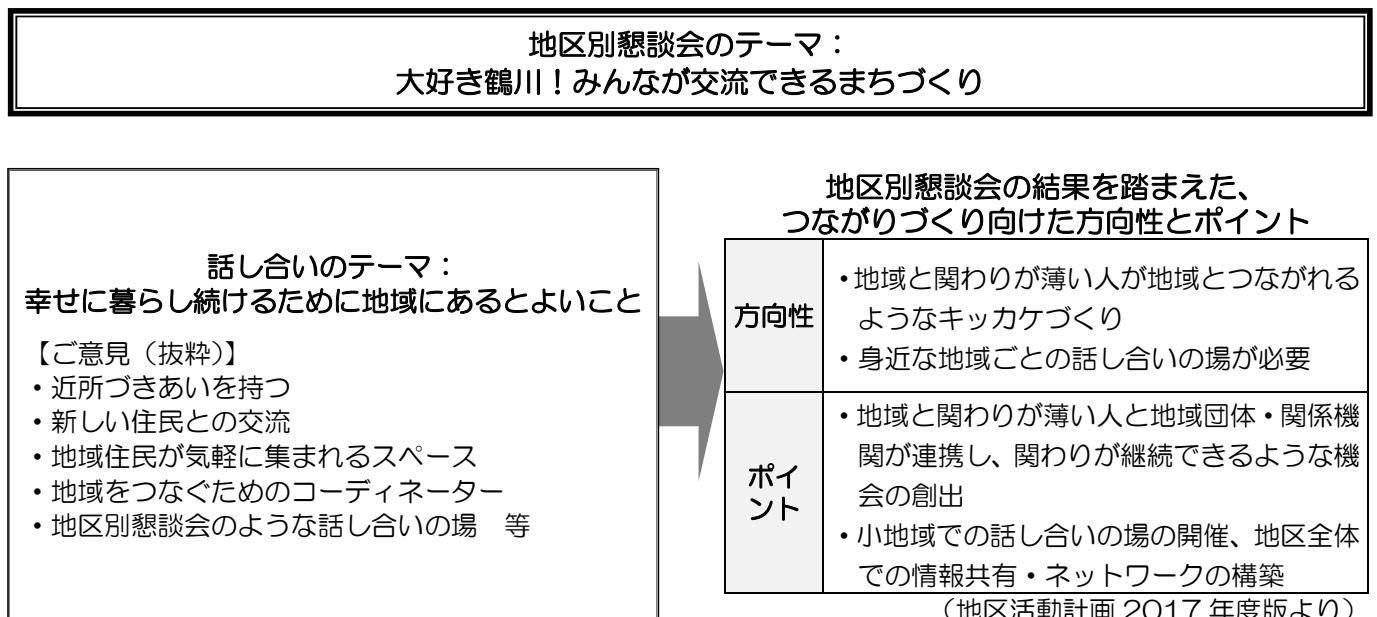
① 第3次町田市地域福祉計画策定のための住民懇談会（2016年1月）



（第3次町田市地域福祉計画 第2部地区活動計画より）

※ 2017年度以降、第3次町田市地域福祉計画、町田市社会福祉協議会の第四次地域福祉活動計画に基づいて、市内10地区で地区別懇談会を開催しています。

② 2017年度 地区別懇談会



③ 2018 年度 地区別懇談会

地区別懇談会のテーマ：
大好き鶴川！みんなが交流できるまちづくり

話し合いのテーマ：
地域の多様な主体（住民・団体・企業等）の
交流を進めるために、自分や地域でできること

【ご意見（抜粋）】

- ・活動：
あいさつ・声かけ・交流、ボランティア活動、
見守り 等
- ・場・機会：
子どもの遊び場づくり、交流できる場づくり 等
- ・イベント：
スポーツイベント、地域イベント 等
- ・しくみ：
情報共有、広報、個人情報の活用検討 等

地区別懇談会の結果を踏まえた、
今後の方向性と具体的取組み

方向性	・地区別懇談会のまとめを見て、自分の所属団体や自分ができることを考え、気づきを促します。 ・各団体や活動につなげます。 ・各団体や地区協議会等、事業につなげます。
具体的取組み	・地区別懇談会の後、アンケートや報告会の開催を行います。 ・模造紙の活動内容や連絡先等の参加者名簿を作成、団体同士のつながりをつくりま - す。 ・事例発表者への地区別懇談会の気づきをヒアリングし、各団体や地区協議会の事業へのつながりを促します。

（地区活動計画 2018 年度版より）

懇談会の終わりに活動団体同士の交流時間を設けマッチングを実施し、
団体同士で連絡先を交換するなどつながりができました！

③ 2019 年度 地区別懇談会

地区別懇談会のテーマ：
大好き鶴川！～みんな集まれ！地域イベント情報大集合～

話し合いのテーマ：

①：参加したことがあるイベント

- 【参加したことがあるイベント（抜粋）】
盆踊り、どんど焼き、鶴川団地まつり、
鶴川地区交流音楽祭、鶴川センター名店街
（バザー、節分、夏祭り、エイサー）、
金井さくら祭り、金井フェスティバル、
いこい祭り/いこい会館、
つるかわ元気 up 健康祭り、
ようこそ！鶴川 OMOTENASHI 大作戦 等
- 【イベントの課題】
情報共有・発信、場所、担い手・参加者 等

②：見てみたい！参加してみたいイベント または やってみたいイベント

- 【イベントの内容】
イベント：（まち丘の日交流、バザー 等）
多世代：（世代を越えたイベント、家族で参加できるイベント 等）
若い世代が集える場所：（婚活イベント 等）
コラボ：（ゼルビアとコラボ、学生や子どもとコラボしたイベント 等）
自然：（小野路の里山を活用したい！ 等）
きっかけ：（地域の人々が外に出るきっかけ作り 等）
カフェ：（地域カフェ 等）

地区別懇談会の結果を踏まえた、
つながりづくりに向けた方向性と具体的取組み

方向性	・各団体の活動や、地域イベントにつなげていきます。 ・地域住民同士のつながり（交流）をつくり - ます。 ・地区別懇談会を地域住民（団体）が主体になり開催します。
具体的取組み	・報告会を開催します。 ・地区別懇談会の参加者（子育て世代）と地域で活動する団体とのつながりをつくり - ます。 ・鶴川地区社協と連携し地区別懇談会を開催 - します。

（地区活動計画 2019 年度版より）

社会福祉協議会と地域子育て支援センターで作成した「地域イベント一覧」を見ながら、話し合いを行いました。

⑤ 2020 年度 鶴川地区 コロナ禍における活動についてのアンケート

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため 10 地区すべてで地区別懇談会の開催を中止し、地区ごとにアンケート調査を実施しました。

当アンケート調査では、コロナ禍における地域活動の状況等について聞いています。

【回答者の基本属性】

図表 回答者の年齢

	194件回答
1 10代	0.0%
2 20代	0.0%
3 30代	2.1%
4 40代	8.2%
5 50代	14.9%
6 60代	21.1%
7 70代	35.6%
8 80歳以上	14.4%
無回答	3.6%

図表 回答者の所属団体（複数回答）

	194件回答
1 町内会・自治会	65人
2 民生委員・児童委員	25人
3 青少年健全育成地区委員会	18人
4 NPO法人	13人
5 ボランティア団体	15人
6 ふれあいサロン・子育てサロン	15人
7 小・中学校	11人
8 小・中学校 PTA	4人
9 老人クラブ	23人
10 障がい当事者会・家族会	4人
11 社会福祉法人	13人
12 保育園・幼稚園	15人
13 高校・大学	3人
14 地区協議会	10人
15 地区社協	6人
16 自主グループ	45人
17 その他	15人
無回答	3人

【地区別懇談会についてのご意見】

●地区別懇談会の開催方法

「集合しての意見交換」が4割半ばと「オンラインでの意見交換」よりも多くなっています。

図表 地区別懇談会の開催方法

	194件回答
1 集合しての意見交換	45.4%
2 オンラインでの意見交換	39.2%
無回答	15.5%

●地区別懇談会で取り入れてみたいテーマ（自由回答の抜粋）

<交流>

- ・地区全体での交流会など。
- ・近隣の住人同士の交流の機会をより増やすにはどうしたらいいのか。

<地域活動>

- ・地域に根付かせたい活動について。
- ・それぞれ活動していると、いろいろな課題が出てくると思う。その課題解決にどのように努力しているか多くの人の意見を聞きたい。
- ・みんながどのように活動しているか、アイデアを話し合いたい。

<担い手の確保・育成>

- ・次世代の若者の人材発掘をどうすればよいか。
- ・活動者を増やすにはどうすればよいか。
- ・若い学生、若い世帯をどうしたらまきこめるか（いろいろやってみたが、続かない）。

<高齢者・障がい者支援>

- ・高齢者や地域で弱者を見守る体制づくり。
- ・障がいを持った住民やその家族が暮らしやすい街。

●地区別懇談会から生まれたつながりや取組み（自由回答の抜粋）

<団体とのつながり>

- ・鶴川地区協議会とのつながりが出来て助成金を2年間頂いた。
- ・民生児童委員のメンバーとして活動に賛同された方が、民生児童委員協議会に入ってくださいました。
- ・地区別懇談会で民生委員にスカウトされました。横のつながりが色々できました。

<子育て情報の共有>

- ・子育てカレンダーに園の名前を入れて頂いたので、少しずつ地域との交友が出来そうです。

<活動意欲の向上>

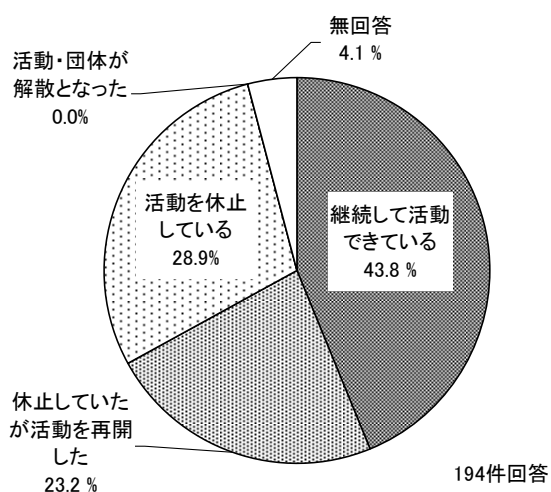
- ・多数の方々と意見交換ができ、活動の原動力となった。

【コロナ禍における地域活動の状況について】

●コロナ禍における団体の活動状況

継続して活動できている団体は4割強となっています。

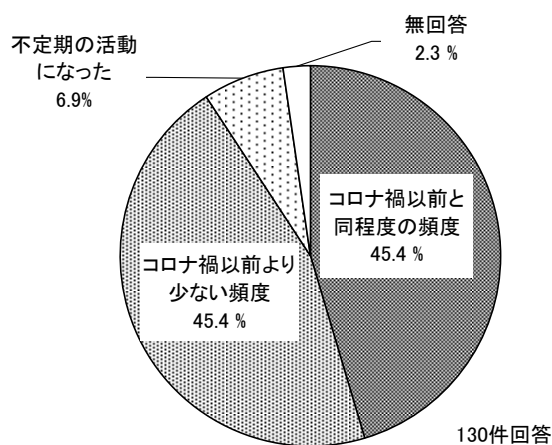
図表 コロナ禍における団体の活動状況



●活動の頻度

活動を継続している・再開した団体では、以前と同程度の活動ができているのは4割半ばとなっています。

図表 コロナ禍における団体の活動状況
(活動を継続している・再開したと回答した人)



●コロナ禍での活動で課題に感じていること

（活動を継続している・再開したと回答した人）（自由回答の抜粋）

<コミュニケーション不足>

- ・電話だけでは伝わらない、気づけないこと、様々な状況を見逃しているのではないかな。
- ・人とのコミュニケーション不足による活動の難しさ。

<活動の実施について>

- ・計画通りの活動が実施できないこと。
- ・全校生徒が集まる活動が出来ない。
- ・どこの施策でもボランティアの立ち入りが禁止されているので、現段階では何も出来ない状態。

<感染症対策>

- ・感染しないための対策。
- ・発熱などの休みにさせる基準がはっきりしていないこと。

<場所>

- ・室内での開催場所の確保。

<参加者の確保>

- ・参加者がいなくなった。

●課題を解決するために工夫していること

（活動を継続している・再開したと回答した人）（自由回答の抜粋）

<オンライン活用>

- ・役員はSNSで連絡と情報の共有・回覧のかわりに掲示板に貼り出す。
- ・オンライン講座の実施。
- ・クラウドファンディングを利用したソーラーステージカー（移動式ステージ）の資金調達を準備中。

<活動方法の工夫>

- ・事前連絡で予約制にしたり、距離をとって遊んでもらえるようにする。
- ・感染予防対策（消毒、手洗い、換気、パーティションなど）して、いつでも相談に応じられる状況をつくらせている。
- ・人数制限。
- ・活動の場をできるだけ戸外にする。

<広報・連絡方法の工夫>

- ・主に集会は避けて、電話又は書類で情報共有している。
- ・日頃、心配だったと思う人には、電話をかけてみる。

●活動できない中での心配ごと

（活動が休止・解散となったと回答した人）（自由回答の抜粋）

<関係の希薄化>

- ・利用者の皆さまの社会との交流の機会がなくなっている事、今まで築いてきた地域の方々との関係が希薄になってしまうのではないかと心配しています。
- ・保護者同士の横のつながりがなくなり、1年生の保護者が一番困ったのではないかな。

<活動意欲の低下・活動停滞>

- ・会員のボランティアに対する意欲が下がるのではないかと心配している。
- ・活動のノウハウの継続、伝承。

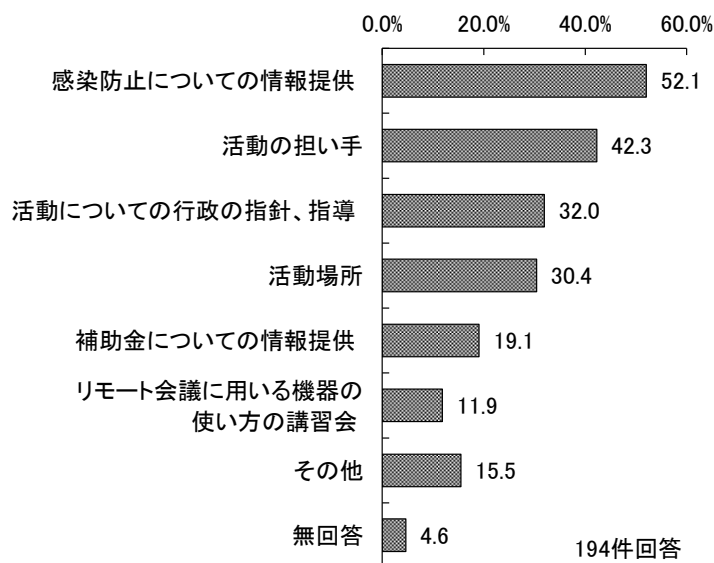
<身体機能の不安>

- ・会員の運動能力低下が心配です。
- ・再開した時、何人参加出来る人がいるか。

●再開、継続していくために必要なこと

「感染防止についての情報提供」が5割強となっています。

図表 再開、継続していくために必要なこと（複数回答）



●今後の活動の展望や「With コロナ」を考えた活動方法（自由回答の抜粋）

<オンライン環境の整備・運用>

- ・オンライン授業の拡大。
- ・スマホの LINE グループを作り、会員相互の会話を楽しむ。
- ・町田市と各部所のコミュニケーション手段としてメール、TV 会議を主とするように変更する（町田市の DX 化）、（各部所とは活動団体を含む）。

<活動内容の見直し>

- ・今迄の活動を見直し、本当に必要な活動計画を作成、実施する。
- ・今までと同じ活動はできないので、本当に必要なことを密にならずに行うのが良いと思います。
- ・消毒やマスクなどで用心する事は大切かと思いますが、活動の場は積極的に設けたほうが良いと思います。
- ・生の演芸（伝統芸能）の普及に力を入れた活動を望んでいるので、動画配信は現時点では考えていませんが、地元の放送局やラジオ等、学校での公演など協力できる機会があればと思います。

<安心して活動できる場づくり>

- ・With コロナの状況の中で不安になっている子育て世代に向けて安心できる場づくりや、安心感を持てる講演会などの実施、親子で思い切り遊べる場づくり（公園利用、冒険あそび場などのような）。

<地域活動の推進>

- ・このような時こそ、地域コミュニティの重要性をアピールする時だと思います。

●コロナ禍でも残してほしい・今後も参加したい地域活動・イベント（自由回答の抜粋）

<行事>

- ・町会の行事。
- ・新年顔合わせ、塞の神（どんど焼き）、納涼祭、地域草刈り、餅つき大会、防災訓練、消火訓練（可搬式ポンプ）。

<イベント>

- ・つながりづくりとしてのイベント。
- ・野津田公園のような場所で行う野外のイベントはこれからも続けてほしいし、続けられると思う。
- ・ハロウィン等の子ども大人も楽しめるイベント。鶴川 OMOTENASHI 祭り。
- ・「リサイクル広場 真光寺」を継続して残したい。

<地域活動>

- ・地域でやっている「あいさつ運動」は続けていきたい。
- ・お元気な高齢者の活動場所が少なくなっています。体操や運動する所などは残してほしいです。
- ・むしろ、コロナ禍で必要とされる地域活動を考えるべきではないでしょうか。Zoom 等での参加であれば人は集められると思います。

<ふれあいサロン・子育てサロン>

- ・ふれあいサロン、子育てサロン（十分なコロナ対策の上）。

<地域活動・イベント全体として>

- ・家族以外の仲間とのおしゃべりはとても楽しいし、いろいろな情報を得る手段でも有ります。是非とも再開したいです。
- ・今までやってきたものは続けてほしい。

2020 年度までに取り組んだこととアンケート結果を踏まえた 今後の方向性・具体的取組み

2020 年度までに取り組んだこと

- ・コロナ禍で活動休止している団体の把握を行いました。
- ・鶴川地区協議会の事業で「フードバンク鶴川」を立ち上げました。
- ・どこにもつながっていない要配慮者世帯の支援方法について検討をはじめました。
（鶴川地区社協）



方向性	・鶴川地区の生活困窮世帯への食材支援を行います。
具体的取組み	・鶴川地区協議会と鶴川地区社協が連携し、研修や地区別懇談会を開催し地域住民同士のつながりをつくれます。

（地区活動計画 2020 年度版より）

(2) 5年間を通して生まれた取組み

- 鶴川地区の地区別懇談会は、課題を出し合うだけではなく鶴川地区のみなさんがつながる懇談会を目的に、4年間「大好き鶴川！！」をメインテーマとして、交流できる場の提供や団体と地域住民のつながりづくりを行いました。
- 2018年度は「みんなが交流できるまちづくり」をテーマに懇談会を開催しました。和光台地域支え合い連絡会、鶴川団地地域支え合い連絡会、小さな一歩電話相談室等が事例発表を行い、活動を知ってもらい、協力しあえる仲間ができました。
- 2019年度は子育て中の世代が地域のつながり、地域活動に参加する、また、地域のイベント情報発信を目的に、グループワークでのイベント情報交換や、子育て中の世代が地域の方々と意見やイベントを出し合い、多世代交流の楽しい時間となりました。
地区別懇談会のつながりから、現在、子育て中の世代が鶴川地区協サポーターとしてHPの更新やスマホ教室のお手伝いなどの活動をしています。

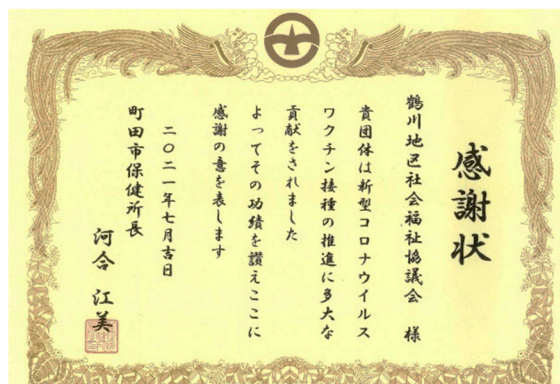


鶴川地区協サポーター
の活動の様子 ▶

- 2020年度は地区別懇談会の開催が出来なかったため、アンケート調査を実施しました。鶴川地区はコロナ禍でも感染に気を付け、工夫をして活動をされていました。また、アンケートからも「活動を継続できている」が4割強の結果となり、地域では、新しい様式での交流を模索しています。今後は、交流しながらつながりをつくり、みんなで支え合えるまちを考える鶴川を目指します。
- 市内3番目の地区社会福祉協議会である「鶴川地区社協」が立ち上がりました。鶴川地区社協の事業の一つとして、福祉分野の専門職や地域活動団体が団体の困りごとや、困りごとを抱えた世帯の事例を会議のテーブルにのせ、参加者みんなで考えて知恵を出し合い、社会資源につなげる会議を毎月行っています。また、通院等の外出を支援する「つるかわCAP」事業をコロナ禍でも継続して実施しています。2021年5月には地域の困りごとにより早く対応するため、高齢者のコロナワクチン接種予約のお手伝いを開始し、鶴川地区協議会と協力しながら地域のみなさんの手助けをしたことに対して、町田市保健所長から感謝状をいただきました。



▲ つるかわCAPの活動の様子



▲ 鶴川地区社協への感謝状

5. 地区協議会の取組み

(1) 設立日・構成団体

<設立日>

- 2015年2月6日（市内3地区目）

<構成団体>

- 鶴川地区町内会・自治会連合会（36町内会・自治会）、青少年健全育成鶴川第一地区委員会、青少年健全育成鶴川第二地区委員会、青少年健全育成鶴川第三地区委員会、鶴川第一地区民生委員児童委員協議会、鶴川第二地区民生委員児童委員協議会、町田市消防団第3分団、町田市社会福祉協議会、鶴川地域社会福祉法人連絡会、鶴川第1高齢者支援センター、鶴川第2高齢者支援センター、鶴川商店会、鶴川団地中央商店会、鶴川団地センター名店会、金井商店会、鶴川第一小学校・PTA、鶴川第二小学校・PTA、鶴川第三小学校・PTA、鶴川第四小学校・PTA、金井小学校・保教の会、大蔵小学校・PTA、三輪小学校・PTA、鶴川中学校・PTA、鶴川第二中学校・PTA、真光寺中学校・保教の会、金井中学校・PTA、野津田高等学校、町田の丘学園、国土舘大学、和光大学、和光中学校、和光鶴川小学校、一般財団法人町田市文化・国際交流財団（ポプリホール）、鶴川地域子育て相談センター、鶴川地域障がい者支援センター、子どもセンターつるっこ、老人クラブ連合会鶴川支部、シルバー人材センター鶴川支部、フェリシアこども短期大学、町田地区保護司会鶴川分会、鶴川地区社会福祉協議会、町田市立鶴川地域図書館、鶴川ふれあいこども館（54団体）

(2) 地区協議会のこれまでの主な取組み

事業名	概要	詳細（事業目的など）
広報広聴事業	・ホームページ ・広報紙作成（月1回） ・LINEによる情報発信	鶴川地区協議会の活動を地域住民に広く知ってもらい、多くの方から意見をいただける機会を作ることを目的としている。
くらしの総合相談事業	・3水スマイル라운ジの開催 ・地域活動室の充実	地区内のネットワークを強化し、子育て・高齢、障がいなどあらゆる生活上の相談に応じる。学習や遊びを通じて地域住民同士をつなげ、地域の人々が地域で活躍できる取り組みを行う。
災害対策会議事業	・防災をテーマにした講演会の開催 ・災害時の対応の見直し ・避難施設開設訓練の実施 ・特殊詐欺被害防止委員会の活動	各町内会・自治会や各団体が大規模災害時に備え、どのような準備や訓練をしているか情報を共有することで、先駆的に取り組んでいる事例を学びあうことを目的としている。
フードバンク鶴川	・コロナ禍で食に困っている世帯への食材支援	コロナ禍で食に困っている世帯への食材支援を目的として「フードバンク鶴川」の事業を開始し、鶴川地区にお住まいの方々へ食材の支援を実施している。 引き続き支援を継続するとともに、新しく鶴川地区社協の鶴川ボランティアセンター事業と連携して、災害時に食に困っている世帯へ食材が配布できる仕組みを検討していく。

事業名	概要	詳細（事業目的など）
地域活性化事業	・鶴川地区で活躍する団体の活動を広報チラシ作成等で支援 （１）無料塾「結」 経済的困難により有料塾に通えない中学生等に学習支援を実施 （２）レッツごはん こどもから高齢者まで幅広い層に食事を提供するとともに学習支援を実施 （３）外国人＆日本人親子サークル だんろ 国際交流に関心のある日本人ママ、外国人ママが集まり、季節の行事や子どもへの読み聞かせ等の交流会を多言語で実施 （４）ぼくはぼく 家族関係や介護疲れなどで困っている方の居場所としてワークショップを実施 （５）非営利活動法人 みんなのそら 未就学児から小学生、保護者が気軽に立ち寄れる場所づくりを行い、親たちの交流を促す （６）町田にベイベーシアターを 広げる会 親子で参加するワークショップの開催やミニシアターを上映	鶴川地区で活動している特定非営利活動法人や市民団体を応援することにより、鶴川地区が活性化することを目的としている。

6. 市民アンケート調査の地区別集計結果

（仮称）町田市地域ホッとプラン策定の基礎資料とするため、地域福祉に関する生活実態やご意見などを把握することを目的として、アンケート調査を実施しました。

調査対象：18 歳以上の町田市内在住者 2,000 人

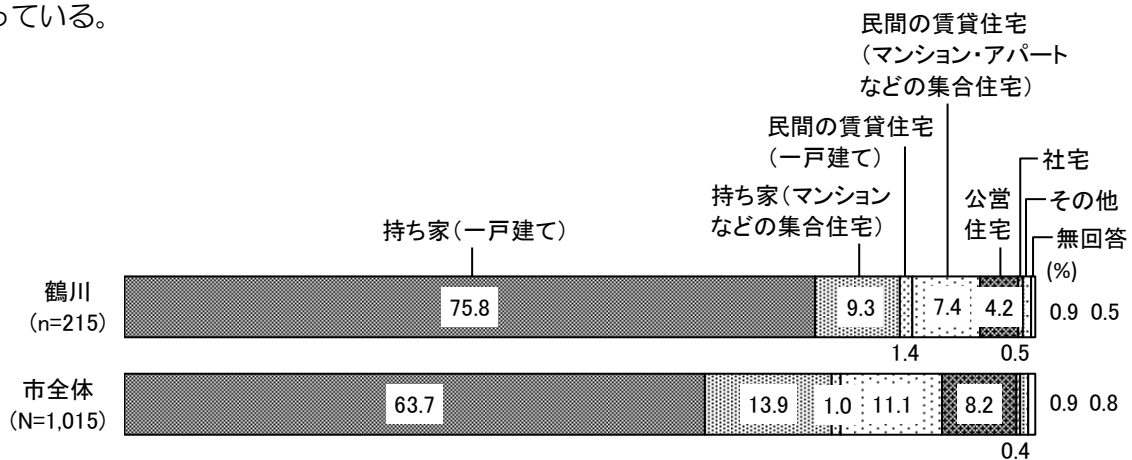
調査時期：2020 年 2 月から 3 月

（１）基本属性

- ・ 年齢は平均 58.8 歳（全体は 58.6 歳）、職業は就労していない人が 45.5%（全体は 43.8%）である。

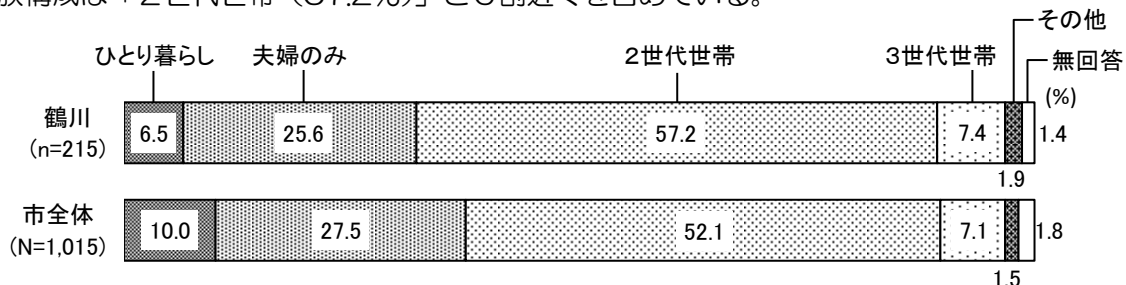
◆住まいの形態

- ・ 住まいの形態は「持ち家（一戸建て）」が 75.8%を占めており、全体と比較して 12.2 ポイント高くなっている。



◆家族構成

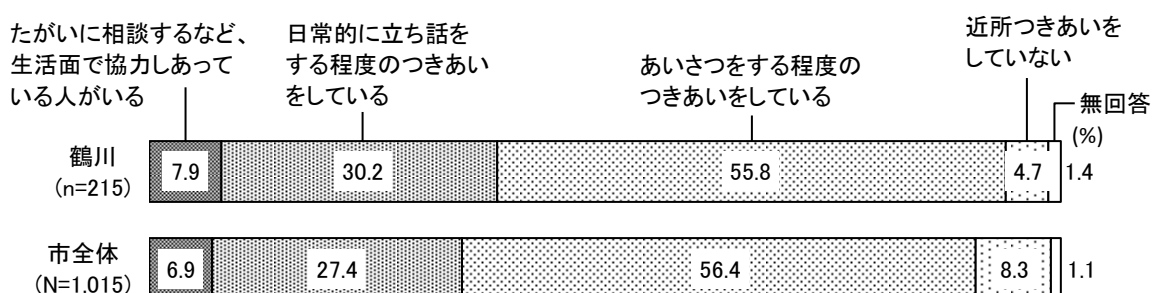
- ・ 家族構成は「2世代世帯（57.2%）」と6割近くを占めている。



（２）地域での暮らし

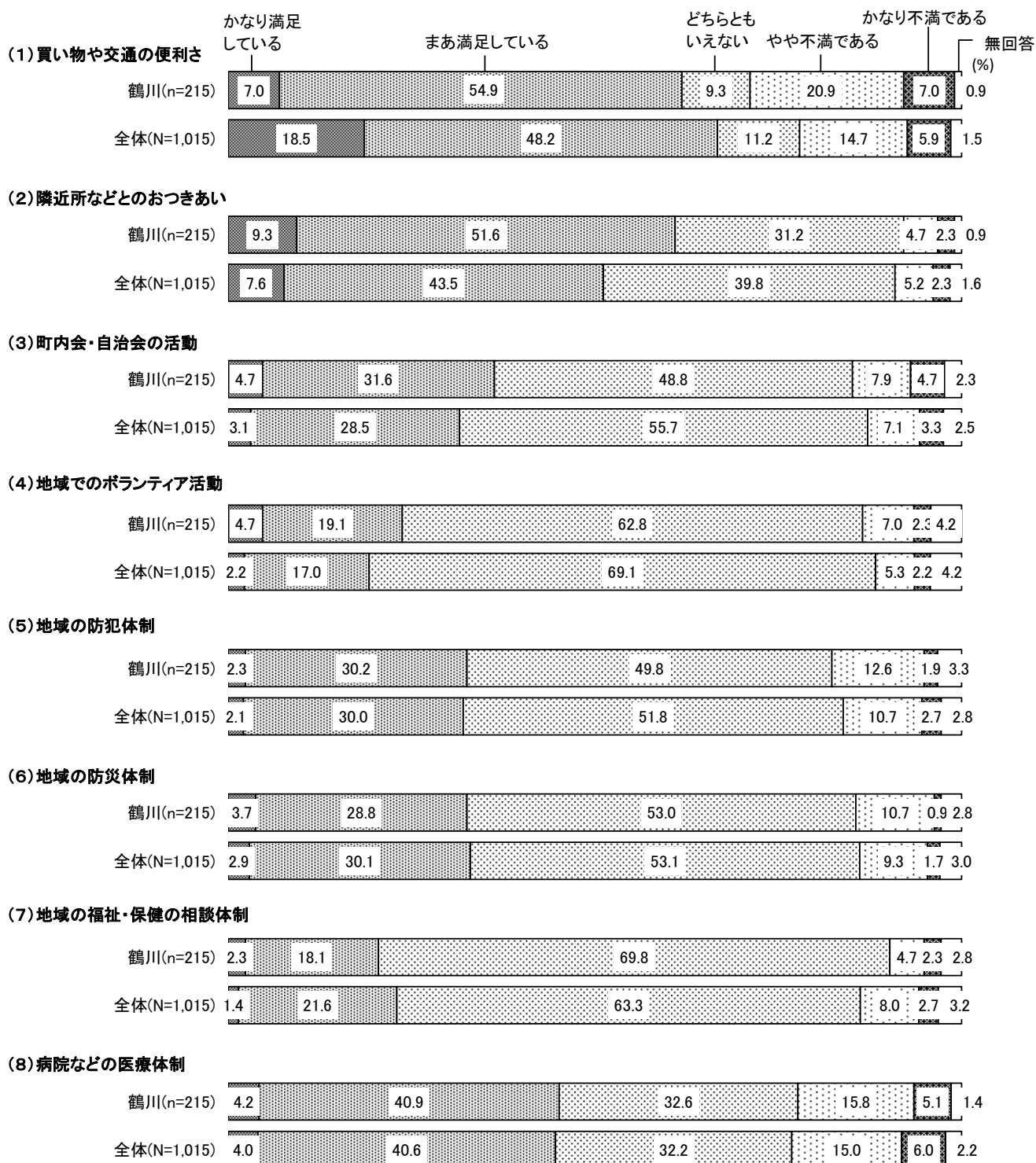
◆近所つきあいの程度

- ・ 近所つきあいの程度は、「たがいに相談するなど、生活面で協力し合っている人がいる」、「日常的に立ち話をする程度のつきあいをしている」を合計した割合は 38.1%で、全体と比較して 3.8 ポイント高くなっている。



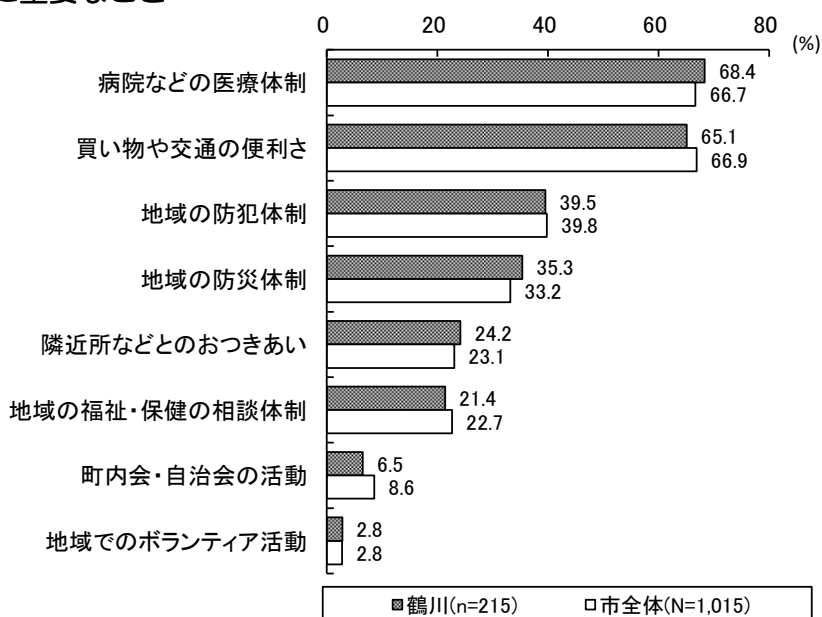
◆地域の暮らしやすさについての満足度

- ・ 地域の暮らしやすさでは、「かなり満足している」と「まあ満足している」を合計した割合は、『買い物や交通の便利さ』、『隣近所などのおつきあい』が6割台となっている。
- ・ 『隣近所などのおつきあい』、『町内会・自治会の活動』、『地域でのボランティア活動』は、全体と比較して満足度が高い。
- ・ 全体も低くなっているが、『地域の福祉・保健の相談体制』の満足度が最も低くなっている。



◆地域で安心して暮らしていくために重要なこと

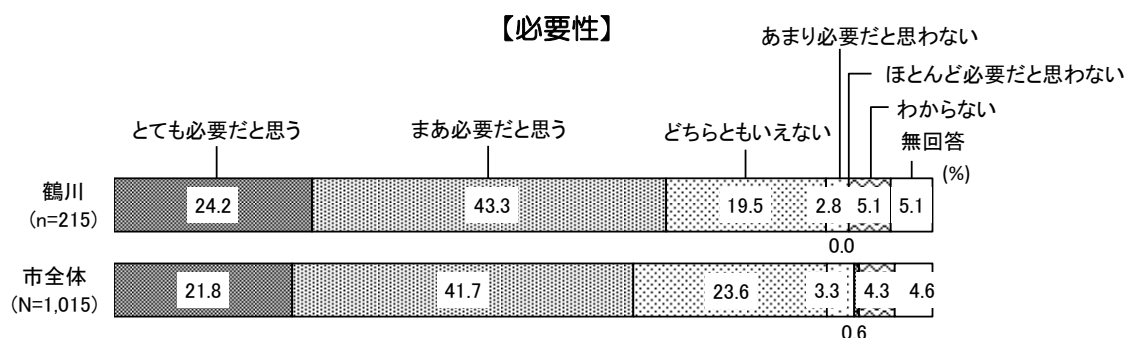
- ・ 地域で安心して暮らしていくために重要なことは、「病院などの医療体制」が最も多く、「買い物や交通の便利さ」、「地域の防犯体制」が続いている。
- ・ 「地域の防災体制」、「隣近所などのおつきあい」で全体より高くなっている。



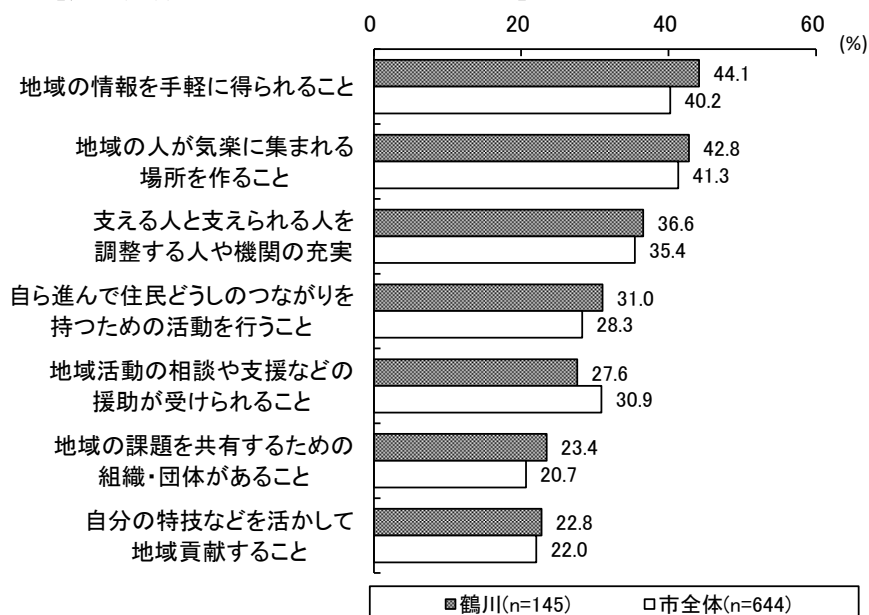
※その他、特になし、無回答はのぞく

◆住民同士の自主的な協力関係の必要性、協力関係をつくるために必要なこと

- ・ 住民同士の自主的な協力関係の必要性について、「とても必要だと思う」と「まあ必要だと思う」と回答した人の合計は 67.5%であり、全体を 4.3 ポイント上回っている。また、必要だと思う人に必要なことをたずねたところ、「地域の情報を手軽に得られること」が最も多く、上位3項目は全体と同様の項目である。



【協力関係をつくるために必要なこと】＜必要だと思う人＞

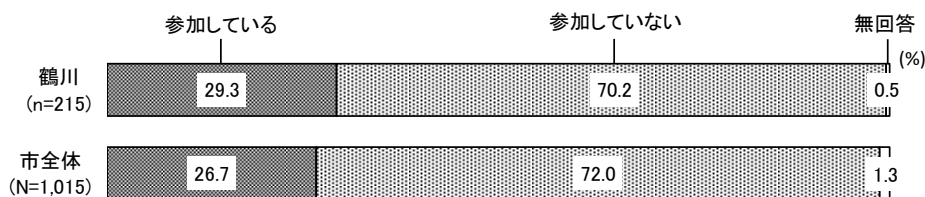


※その他、特になし、無回答はのぞく

(3) 地域活動・ボランティア活動

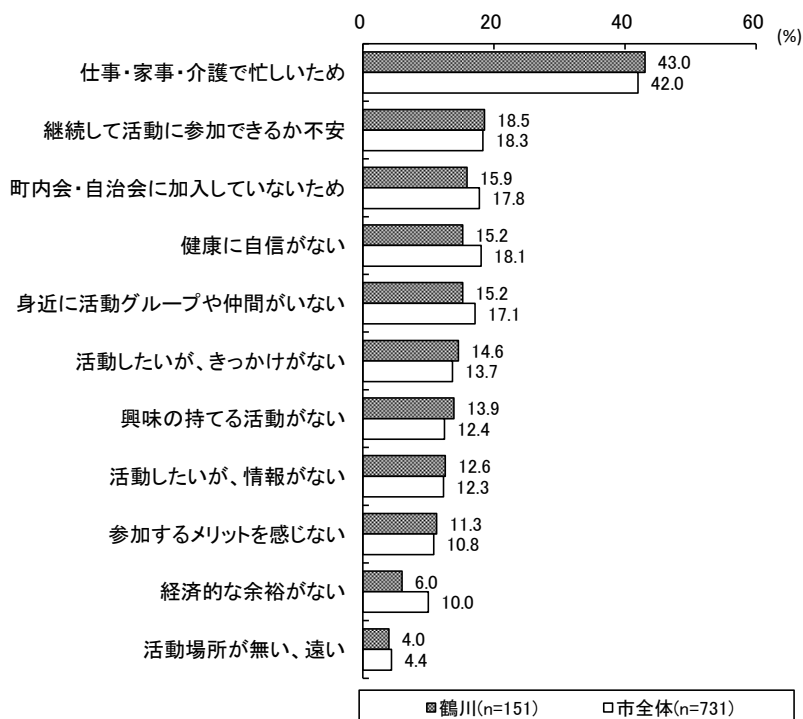
◆地域活動・ボランティア活動への参加状況

- 地域活動・ボランティア活動に参加している人は、29.3%であり、全体を 2.6 ポイント上回る。



◆地域活動・ボランティア活動に参加していない理由<参加していない人>

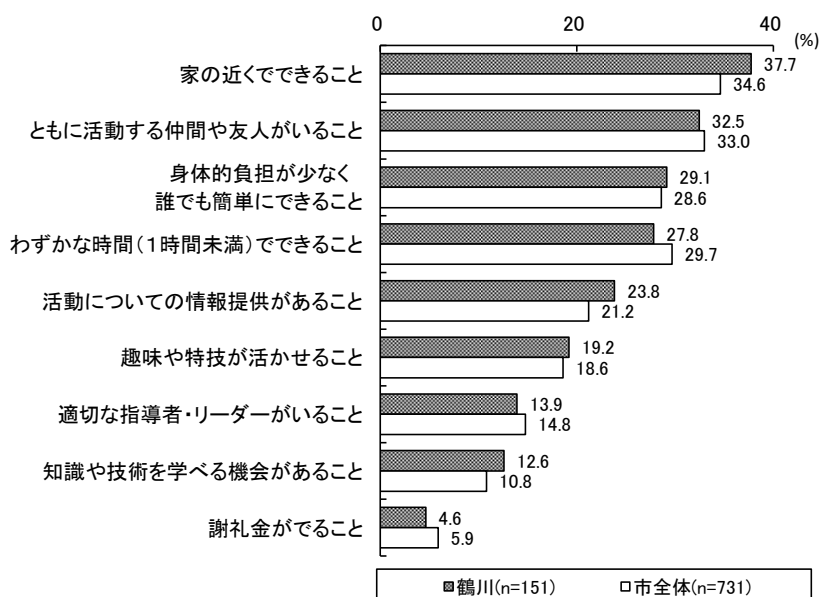
- 地域活動・ボランティア活動に参加していない人にその理由をたずねたところ、「仕事・家事・介護で忙しいため」が 43.0%で最も多くなっている。



※その他、無回答はのぞく

◆地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件<参加していない人>

- 地域活動・ボランティア活動に参加していない人に参加しやすい条件をたずねたところ、「家の近くでできること」が 37.7%で最も多くなっており、全体を 3.1 ポイント上回っている。
- また、「身体的負担が少なく誰でも簡単にできること」、「活動についての情報提供があること」、「趣味や特技を活かせること」、「知識や技術を学べる機会があること」が全体よりも高くなっている。

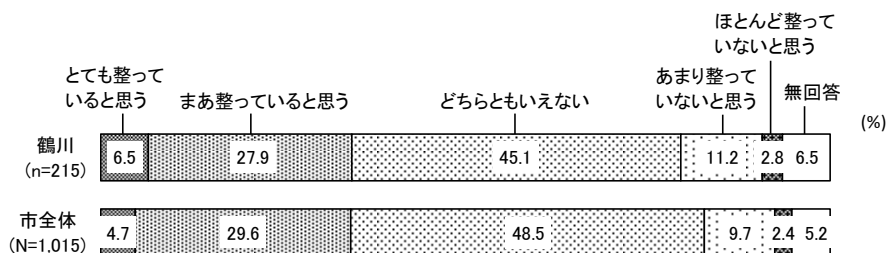


※その他、特になし、無回答はのぞく

(4) 福祉サービス、福祉施策

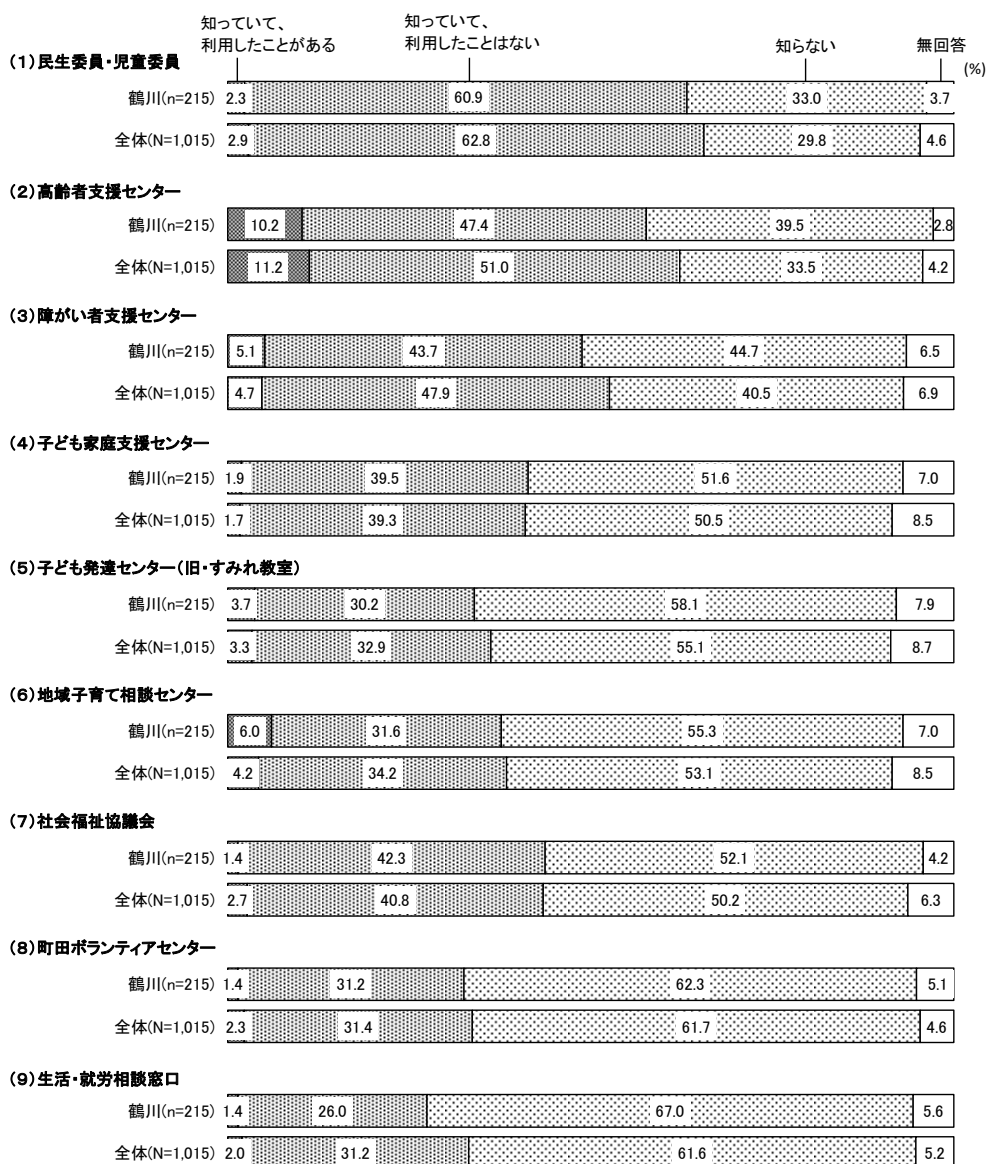
◆町田市の福祉サービスの利用環境の整備状況

- 町田市の福祉サービスの利用環境の整備状況は、「あまり整っていないと思う」と「ほとんど整っていないと思う」を合計した割合が14.0%と全体を1.9ポイント上回っている。



◆福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度・利用状況

- 福祉に関わる相談窓口・機関等の認知度（「知っていて利用したことがある」と「知っていて、利用したことがない」の合計）は、『民生委員・児童委員』が6割台、『高齢者支援センター』が5割台となっている。
- 全体と比較すると、『高齢者支援センター』の認知度は全体を4.6ポイント、『生活・就労相談窓口』の認知度は全体を5.8ポイント下回っている。



7. タウンミーティング（地区別意見交換会）の結果

（１）実施目的・参加人数・主な参加者

＜実施目的＞

- 2022年4月から始まる新たな市の基本構想・基本計画である「まちだ未来づくりビジョン2040」の策定に向けて、2019年に町内会・自治会や地区協議会を対象の中心として、市内10地区でタウンミーティング（地区別意見交換会）を実施し、それぞれの地域にお住まいの方と一緒に、住んで良かったと思えるような、まちだの未来を考えました。

＜参加人数（グループ数）＞

- 17人（4グループ）

＜主な参加者＞

- 高校生、大学院生、小中学校長、町内会・自治会、民生児童委員、学校ボランティアコーディネーター、障がい者支援施設職員、高齢者支援センター職員。

（２）住みたい（なりたい）まちの姿とご意見

① グループごとの話し合いから出た「住みたい（なりたい）まちの姿」

- 【Aグループ】・バスの中で知らない人とも会話ができるまち ・近所の人に怒られるまち
- 【Bグループ】 良いところ取りで心地よいまち
- 【Cグループ】 緑の中で人と人がつながるまち
- 【Dグループ】 人と人、自然が育む、豊かな町田市

② タウンミーティングでいただいたご意見

＜交流・つながり＞

- ・高齢者は若い世代と関わりたいと思っている人が多い。
- ・地域でお互いに声を掛けあえることができるような環境づくり。
- ・地域の人々が子供に注意できるくらいに関係性があるといい。
- ・地域でのつながりが多いと、安心して暮らすことができる。
- ・残っている人たちがつなげていけるまち。

＜地域＞

- ・地域活動の担い手の世代交代が重要。
- ・コミュニティに参加しやすくなる情報発信。

＜子ども・子育て支援＞

- ・子どものまわりにキラキラした大人がいると憧れを持ち、夢につながる。
- ・職業（将来の夢）が体験できる場所があるとよかった ・子育てはコミュニケーション。

＜子どもの遊び場＞

- ・子どもが身体を動かせる場所が欲しい。
- ・大人も子どもも夢中になって遊べる場所・環境。
- ・子どもが遊びに行ける所をつくってほしい〈集まれる場所〉。
- ・子どもたちが自分で考えて遊べる遊び場、空間があるといい。
- ・子どもは泥んこ好き。親は変わってきている（いやがる）。

＜交通・インフラ＞

- ・家から外出するときに移動しやすい交通がほしい。
- ・町田は広いのでいろいろ行けるようになるとよい。
- ・バスが便利に使えるまちに、行き先がわかりにくい。
- ・乗り物を予約できるアプリの開発。
- ・先進的なテクノロジーを使ったまちづくり。
- ・AIを使ったインフラ網。

＜安全・安心＞

- ・安全教育をしてあげたい。
- ・災害時に助け合える。

＜生活環境＞

- ・人と自然が共存できる場所がほしい。
- ・町田にもっと働く場所を！
- ・何でもある公園（桜、ボート、池、あそぶところ、駐車場）。
- ・「とりあえず住んでみよう」と思われる政策をしてほしい。
- ・30分で都会に出られる鶴川。作っている人と会話しながら地域の食材を食べるのびのびした環境。

＜地域・社会の意識＞

- ・貸し借りのない社会。
- ・人の心の豊かさ＝下町。

（出典：各種ワークショップ等の取組み状況報告より）

URL：https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/sinokeikau/machida_miraizukuri_vision2040/kyodokento20201101.html

8. 過去5年間で感じる地域の良い変化（強み）・悪い変化（弱み）

- ・ 2021 年度の地区別懇談会の開催にあたり（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 2022 年度に延期）、参加希望者の方に事前アンケートとして、過去5年間で感じる地域の良い変化（強み）・悪い変化（弱み）をたずねました。
- ・ 以下は、回答いただいたご意見を表現はそのまま、主な意見を抜粋して掲載しています。

分類	地域の良い変化(強み)	地域の悪い変化(弱み)
人(世帯)	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 若い住民が増えた。 ・ 若い世代の方が増えた。 ・ 学生さんたちの姿が増えた、学校生活の再開。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 新しく越してくる人が増えた(空き家が減った)。 ・ 空家を取り壊されて、小振りの新築が何軒か建ち、子育て世代が増えている様に感じる。 ・ 少子化と言われている中で、子どもの人数が増えていること。 ・ 近くの公園などで遅くまで遊ぶ(集まる)子どもたちを見かけなくなった。 ・ 多くの空き地に住宅が建った。	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 近所に子どもがいない。 ・ 高齢者が増えてきた(単独世帯)、地域の高齢化。 ・ 空き家が増えている。 ・ 鶴川団地の空室増加。 ・ 結婚適齢期の方々の未婚率の上昇(体感)。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 各団地住民の高齢化に伴う閉塞感。 ・ 独居老人世帯が増えたこと。 ・ お年寄りが増えたせいか、毎日、救急車が走っている。
つながり、意識	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 子供との会話が 많아 なった。 ・ 近隣町内とのコミュニケーション機会の増加。 ・ 住民同士の支え合う意識は高くなっている(気がする)。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 里山への関心の高まり。 ・ 鶴川が元気な地域だと聞くことが増えた。 ・ 障がい者や生活困窮者、ヤングケアラーなどに関心を寄せる市民が増えていること。 ・ 地域でコミュニティづくりが増加。	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 近隣のつながりの希薄化 ・ 新型コロナによる交流機会の減少、地域コミュニティのつながりが消えてしまいそう ・ 子どもの教育環境はめまぐるしく変化するが、地域の方は昔の価値観で子どもを判断し、親を責める ・ 情報伝達の悪さ(IT的に) <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 全体的にお付き合いが減り、関係性が希薄になっている。 ・ 町内会と子どもの繋がりが少ない(これは親の意識の問題でもある)。 ・ コロナで集いが慎重。
活動	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 地区協議会や地区社会福祉協議会などの活動(鶴川CAP、地域活動室など)が始まった。 ・ 地区協議会などの活動により、様々な組織のネットワーク作りが活発になってきた。 ・ 見守り活動。 ・ 高齢者、障がい者、子ども(子育て)に関係する団体、ボランティアが増えてきた。 ・ 高齢者だけでなく、子どもや子育ての若い人達への活動や参加が増えた。 ・ イベントが豊富でコロナ禍でも途絶えることなく続いている。 ・ コロナ禍になった事により、野外活動を応援していただける方が増えた。 ・ 三輪住宅自治会で「自主防災を考える会」が発足した。 ・ 地域の情報発信の機会が増えた。 ・ 男性の地域回帰。 ・ 鶴川地域障がい者支援センターのネットワークの拡大。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ センター商店街で活発なイベントが開催され続けていること。 ・ 地区活動の活発な提言、企画作成など。 ・ コロナ禍で思うような活動が出来なかったのが会員に	<2021 年度に回答いただいたご意見> ・ 地区協議会の広がりが見えない。 ・ 高齢化による自治会活動不活性化。 ・ 町内会に加入者が減った。 ・ 若い住民が町会に入りがたがらない。 ・ 町内会における「つながり」を求める人が少なくなっている。 ・ 希薄化。 ・ 高齢化が進み地域のイベント等、今後の担い手不足。 ・ 地域の祭りなどへの若者の参加の仕方が、祭りそのものではなく、交流の場のみにとどまっている。 ・ 地域活動のメンバーが変わらない。 ・ 世代交代が進まない。 ・ 趣味活動や地域包括ケアの活動がコロナの影響で無くなったり減少してしまった。 ・ コロナ禍でボランティアの斡旋がまったくない。 ・ コロナによる緊急事態宣言や活動自粛で、これまで築いてきた活動や繋がりが途切れてしまっている。 ・ コロナの影響で、コミュニケーションが減った。 <2022 年度に回答いただいたご意見> ・ 地域の町内会や学校の役員など、成り手がいない、後継者がいないなどよく聞くようになったこと。 ・ 活動に関わる世代交代が難しい。 ・ 特筆するような悪い変化は感じていません。ただし、祭りなどの機会がなくなっているのは残念で

分類	地域の良い変化(強み)	地域の悪い変化(弱み)
	還元した。今年 8 月に夕涼み会、ラジオ体操を 3 年振りに復活できた。	す。 - 活性化活動が単発で継続的、日常的になってない。活性化活動に参加が少なく、活動情報少ない、気軽に参加の仕組みがない。 - 会合が出来なかった。野外活動(大掃除や多目的広場草刈り等)の参加や協力者が減少した。 「よい変化」と並び子どもたちの自由な活動が少なくなっている(コロナ禍の影響?)。
場所(施設)	<2021 年度に回答いただいたご意見> - 集まる場づくりが積極的に実施されている。 - 子育て世代、乳幼児の子どもたち、親子が集える場所、過ごせる場所が増えた。 - 子ども食堂、無料塾が始まったこと。 - 子どもたちの冒険あそび場ができた。 - 商店街の中にあんしん相談室ができた。 - 商店街のつるかわ図書館を残そうという運動が広がっている。 <2022 年度に回答いただいたご意見> - 小野路では少しずつつながりの場が増えてきていると感じています。 - コミュニティスクール化に向けて地域住民との関わりを持とうとしている。 - 子どもに関する施設が増えた。	<2021 年度に回答いただいたご意見> - 学校統廃合で数年のうちに、鶴川第三小学校がなくなる。 - つるかわ図書館を閉鎖しようとする市の方針。 <2022 年度に回答いただいたご意見> - 公民館・集会所の老朽化また住民が気軽に使おうと思えない。
まち・交通	<2021 年度に回答いただいたご意見> - 薬師池公園がきれいになった。 - 四季彩の杜などの公園整備。 - 道路の整備。 - 自転車の路駐がなくなった。 - 小田急線の都心へのアクセスの向上。 - 鶴川駅東口交差点に左折レーンができて(5 年以上前)、岡上陸橋渋滞が少し軽減された。 <2022 年度に回答いただいたご意見> - 町田ゼルビアが盛り上がりつつある。 - 野津田公園、競技場の整備が進んでいる。 - 道路の白線の引き直しが早い。 - 鶴川駅周辺環境の環境整理 - 駅前の再開発。駅南側は特にパツとしない感じだった。 - 環境がよかった。	<2021 年度に回答いただいたご意見> - 緑がないマンションのような戸建て住宅が増えた。 - 電線が多く景観を損なってきた。 - 利便性の低下(バスの本数の減少)。 - 鶴川団地行く末が不透明(今後の計画)。 - 個人商店の減少。 - 渋滞が増えた。 - 鶴川駅前での路駐、停車が増えた。 <2022 年度に回答いただいたご意見> - バス路線の便が悪い(ルート・運航間隔)。 - 子どもが気軽に寄れるような商店がない。 - ファミリーレストランが少ない。 - 公園がなんとなく薄暗い。 - 駅前などはどんどん整備されているのに、少し離れると街灯が少なく暗い道が多いこと。 - コロナの影響で団地商店街の人出が減り、商店街が閑散とし、スーパーヤマザキが撤退、図書館の利用者も減った。 - 鶴川駅付近の渋滞がひどいこと。 - 鶴川駅東口交差点の渋滞が酷い。 - 交通渋滞がひどくなった。
その他	<2021 年度に回答いただいたご意見> - 様々なシーンでオンライン化が進んだ。 <2022 年度に回答いただいたご意見> - 本や図書館を愛する人の輪が広がったこと。	<2021 年度に回答いただいたご意見> - 情報にアクセスできていない子育て世代がいるのではないか。 - 福祉に十分な予算配分がされていない。 - 生活困窮者への公的支援が手薄かつ行政職員への教育・指導が不十分。 <2022 年度に回答いただいたご意見> - 福祉施設や行政担当者の生活困窮者や障害者に関する知識が乏しいために、弱者が不利益を被るケースが後をたたないこと。憂慮すべきレベルです。 - 不審者が増えてきた。